

長井小学校とのヒラメの放流イベント

1月16日より始まったヒラメの種苗生産。生徒たちが授業だけでなく土日にも実習場に来て世話をしたヒラメたちは、無事5cmを超える大きさにまで成長しました。そして5月9日、第1回目の放流を長井実習場近くで実施することとなりました。

今回、生物系列の2年生と一緒にヒラメを放流してくれたのは、長井小学校の生徒たちです。なかよし学級や5、6年生の環境委員会の生徒たちは、ヒラメの卵から放流するまでの成長過程の話を聞いた後、高校生に付き添われながら、おそろおそろ海へ入り、バケツをゆっくりひっくり返してヒラメを放流。海へ放たれたヒラメの様子を観察しました。最後には「ヒラメのことが知ることができて良かった」「大きく育ててほしい」などたくさんの感想を言ってくれたり、お手紙にしてくれたりしました。

このイベントを含め、今回放流したヒラメは5600尾ほど。生き抜いて、大きく育ててほしいと切に願います。



写真1. なかよし学級の生徒たちから放流スタート
手をつないで放流場所まで連れて行って・・・



写真2. 一緒にヒラメを放流



写真3. 環境委員会の生徒たちも同じように放流



写真4. 放流後のヒラメ
放流後はじっとしていましたが、しばらくすると元気よく泳いでいきました。